

第1回 わかりやすい道路案内標識に関する検討会

1.日 時：平成16年6月1日（火）10：00～12：00

2.場 所：虎ノ門パストラル 新館4階 アイリスガーデン

3.出席者：＜委員＞

家田委員〔座長〕、赤瀬委員、大宅委員、清水委員、廻委員

＜オブザーバー＞

・国土交通省

宮田企画課長、大西国総研道路研究部長、真鍋観光地域振興課長、
柳橋企画官（事業総括調整官 代理）

・日本道路公団（以下、「JH」という）

中村技術部調査役（技術部長 代理）、田中高速道路部長

・首都高速道路公団（以下、「MEX」という）

小林交通管理課長（業務部交通管制室長 代理）

4.議 事：

（1）開会

（2）挨拶（省略）

（3）座長挨拶（省略）

（4）メンバー紹介（省略）

（5）議事

道路案内標識の概要

道路案内標識に対する利用者からの意見

現行の設置基準等とわかりやすい標記に対する取組の現状

}（事務局より資料説明）

1)経路案内の目標地について

- ・日本の標識は、道路を知っていることが前提として設置されている。道路利用者は一般道の目標地名の原則論（重要地、主要地等から選定する）自体知らないため、案内のルールを広報する必要がある。
- ・市町村合併がなされることによって、目標地名が広域的な地名となってしまうわかりにくくなってしまっている事例がある。
- ・日本では、標識から地名がなくなったらその地名の場所に着いたことを示している。引き算的な考え方である。
- ・高速道路の道路形状は簡単であるため、案内も簡単なはずである。しかし道路利用者からわかりにくい等の意見が出るということは、案内標識についての説明が不足しているのではないかと反省しており、広報活動が必要であると考えている。

2)路線名、出口番号について

- ・幹線道路付近では、案内標識に「 通り」という案内がたくさん設置されているところがあるが、これも数が多くどこに向かってよいかわからない。

- ・ 地方部の市町村道が分からない。市町村道を走っていて曲がりたいところを探すときには、カーナビ上で「ここから 本目の道路を右折」といった具合にしないと目的地にたどり着くことができない。イギリスでは路線番号の頭にアルファベットが振られており、道路の種別が明確にされているためわかりやすい。
- ・ 高速道路には出口番号がつけられているが利用されていないのではないか。
- ・ 高速道路のナンバリングについては過去に検討を行ってきた経緯はあるが、実現化されていないのが現状である。
- ・ 出口番号については、外国人からの電話問合せに対応する際に番号で案内している。大部分の路線にも番号がつけられているが、道路利用者への説明が不足している可能性があるため、今後の参考としていきたい。

3) 地点案内について

- ・ 交差点に設置されている主要地点標識に、地名とあわせて「 区」と書かれているものがあるが、小さくて見えないので意味ない。また、「××高校入口」、「××高校前」、「××高校南側」という似たようなものが並んでいるところがあった。もっとわかりやすくして欲しい。さらには、主要地点標識（交差点標識）は全方向の進入部に設置しないと意味がない。
- ・ 高速道路の絵つきの地点案内は、工夫した絵で案内することで心が和む等の意見もあるようだが、それよりも降りたいところの案内の方が重要である。また、様々な絵柄のついた注意喚起板が多く設置されているが、これもあまり良いものとは思えない。
- ・ 高速出口付近にはゴルフ場の案内看板がたくさんある。表示施設の基準を設けないと、何でもかんでもまた付いてしまう。
- ・ キロポスト表示は故障や事故の通報にも役立つということであったが、都市部ではランドマークとなるものが多いためあまり意味ないのではないか。逆に道路管理の意味からも山間部で必要となるものである。

4) 複雑路線の案内について

- ・ 都市高速の合流箇所には規制標識（合流交通あり）が設置されているが、見にくかったりするのが現状である。運転者にとってどのような情報が必要であり、また情報によりどのように判断、行動できるのかを把握することが必要である。
- ・ 日本人は地図というものに比較的親しんでいる。反対にヨーロッパの国民はほとんど地図が読めない、ルート案内もこういうの（立体形状）は作らない。地理的にグルッとまわっていく表示はしない。

5) 地図やカーナビとの連携について

- ・ 若い世代はたくさん情報があったほうがいいと思ったりするのだが、なかなかそうもいかないだろうと思う。カーナビが普及され、慣れてしまうとミスしたときに困ることになる。情報化の時代ですますます情報依存型になることを前提として、フィックスされている標識にどのような情報を出すのかを考えたほうがいい。

- ・ 標識の整備を行っていくうえでは公共の利益を追求すべきであり、個人的な欲求は例えばカーナビ等に任せるべきである。外国人への対応として多言語表記することにはあまり肯定的な意見を持っていない。カーナビでの対応等、IT 時代にあった対応をすべきである。
- ・ 標識、地図、カーナビ等の情報源があるが整合や対応が図られていない。例えば地図には路線番号や出口番号が明記されていないこともある。
- ・ 標識で何でも案内するのではなく情報を分担させる必要がある。例えば観光等の説明はカーナビに任せようが、ごたごた標識に書くよりは効率がいい。

6) 標識の体系や維持管理について

- ・ 今後は標識をマネジメントしていくことが必要である。周辺環境が変わることによって、表示すべき内容も変わってくる。道路管理者、道路利用者、および関係者が連携して標識を常にチェックする仕組みづくりが必要である。
- ・ 掲げると宣伝になるような施設の案内は、その分、費用を負担させるような、きちんとした仕組み作りの体系が必要では。
- ・ 日本の学校では諸外国に比べ地図をよく教えている。外国人に地図を見せても理解できない人が多いが日本人はよく理解している。もう少し活用できないものか。
- ・ そもそも標識はコミュニケーションメディアでありソフトそのものである。しかし管理者は工事して設置すれば終了と考えがちである。街が変われば表示内容も変わっていくべきである。必要に応じた更新作業、何を案内すべきであるか等を検討すべきである。
- ・ 今ある標識に、新たな情報を付加していったような状況で、結果として表示内容のつじつまが合わなくなっているのが現状ではないか。表示内容については、不必要になったものを削除し新たに追加していくべきである。
- ・ 日本人は体系化が苦手である。新しいことをするが今までのものが残っており、結果としてごちゃごちゃになり分からなくなってしまう。
- ・ 時代の変化に伴い、標識システムの体系の見直しが必要である。
- ・ プライオリティーをしっかりと持つべきで、もっと重要なところをやらないといけない、という発想が必要である。
- ・ システムとして大きく変えなくても標識の改善は可能では。
- ・ ベーシックデザインの検討をすべきであるが、現状にあるものを無視するわけにはいかない。一つはベーシックなポリシーや考え方やあるべき姿のデザインを考えるべきである。次に具体的な場所でアプライしていく。イメージでは地域やユーザーの声などを入れながら、納得と合意と負担に基づいたアプリケーションを決める。
- ・ 標識のデータベース化がなされておらず、特定の標識のデータを探し出すことも困難な現状である。また、標識は見た目にはわかりやすい分野であるが故に各担当者がレイアウトに個性を出そうとしてしまっている。検討会の中で最低限整理すべき点を明確にしていくべきであると考えている。

7)外国人を含めた観光対応について

- ・外国人（特にヨーロッパ）は団体行動を好まないため、自分で運転をしたがる傾向にある。しかし、外国人が成田空港についてから、レンタカーを借りて東京に来ようとしても今の案内標識を頼りに東京に来ることはできない。これは非常に問題がある。
- ・管理者は丁寧な案内を出そうとするが身内が見てわかる案内となりがちである。例えば外国人にもわかる案内方法を考える必要がある。
- ・最近の観光に関する動向としては、東京メトロで駅ナンバリングの開始、JR 東日本では主要駅の案内に四ヶ国語表記を行ってきている。今年度はバス路線のナンバリングや多言語表記を実験として行っていく予定である。
- ・案内標識の多言語表記は難しいと考えているが、歩行者用案内ではピクトグラムを利用するなどわかりやすい対応をお願いしたい。

8)歩行者対応について

- ・現状では、歩行者のための標識自体が非常に少ない。しかし、道路は歩行者も多く利用しているので、歩行者に対しどのような案内をしていくべきかも検討すべきである。

9)その他

- ・（日本以外の）道路、鉄道、空港では矢印の向きは下向きである。日本の地下鉄の駅等では、案内標識の矢印が上向きだったり下向きだったりしている。世界的にみて何か基準のようなものはいいのか。
- ・道路で直進を示す矢印に上向きを使うか下向きを使うかについての国際的な基準はないものと認識している。
- ・高速道路の入口に「 方面へは行かれませんか」と書かれているところがあるがこれも意味ない。どうすればその方面に行けるのかを案内するべきである。
- ・高速道路の入口案内に「 m 先」等の表示があるが、これは「次の信号」等の表現のほうがわかりやすい。
- ・全体的に文字の大きさが小さすぎる。読めなければ行動できないし、直前で読めても危ないのでどうにかならないのか。
- ・都心部には駐車場案内システムが多く設置されているが、地図が複雑で極めてわかりにくい。緊急的に議論すべき内容であると考えている。
- ・標識と信号が見られればいいのに、いろいろな看板がたくさん付いているから標識がどれだか分からない。

(6) その他

- ・第2回検討会は、7/16（金）19:00～21:00 で実施する予定である。その際に、各委員から今後の方針について5分程度で発表していただく。

以上